

第 25 期日本学術会議の新規会員任命に関する声明

第 25 期日本学術会議の新規会員任命にあたって、日本学術会議が推薦した会員候補者のうち 6 名に対して、内閣総理大臣が理由等を明らかにせずに任命を拒否している。こうした対応は、憲法に定められた学問の自由の保障、そして「科学が文化国家の基礎であるという確信に立って、科学者の総意の下に、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命」とする日本学術会議法の精神を貶め、研究者の自由で公正な研究教育活動を脅かすものである。

社会学系コンソーシアムは、2007 年 8 月に設立された、社会学研究を基盤においた学協会の連携組織であり、日本社会学会や日本社会福祉学会をはじめとして、社会学および社会福祉学などに関連する 31 の学協会が集って連携した組織である。これら組織を代表して、社会学系コンソーシアム理事会は、内閣総理大臣による任命拒否とその理由開示拒否という異例の決定が学問の自由を侵すものであると考え、6 名の会員候補者の任命拒否理由のすみやかな開示、そして 6 名の会員への任命を求めるものである。

2020 年 10 月 11 日
社会学系コンソーシアム理事会